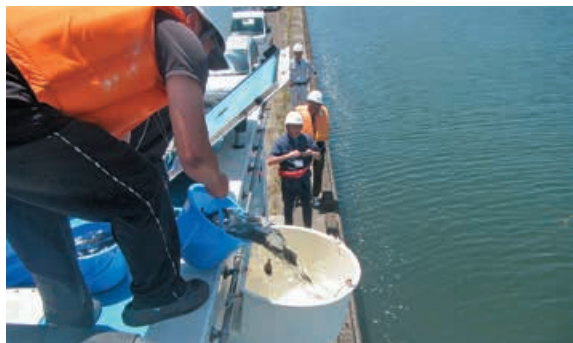


ラグビー場こけら落とし 県高校選抜と強豪校が熱戦

6月11日(日)、大崎町中央運動公園において「大崎町ラグビー場こけら落とし記念大会」が、大崎町ラグビーフットボール協会の主催で開催されました。

同協会は、大隅半島にラグビーができる場所を増やそうと、寄付金を集め同公園にラグビーポールを差し込める基礎を設置しました。試合は、ラグビー場の完成を記念して開催され、鹿児島県高校選抜代表と強豪校の京都成章高等学校(同協会坂口晃大会長の母校)が対戦し、町内初開催のラグビー大会を観戦に、大雨が降る中、町内外から多くの方が訪れました。

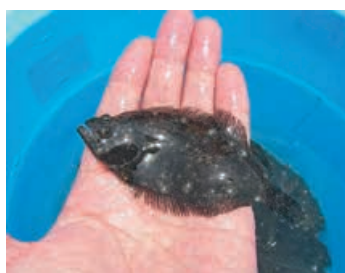
試合前日の10日は、京都成章の選手や監督32名が東町長を表敬訪問しました。3年の太田陸斗さんは「コロナの影響で遠征の機会がほとんどなかったので、来られて嬉しい。激励品のお肉も楽しみです」と話してくれました。



漁獲量増大を願いヒラメの稚魚を放流

6月7日(水)、東串良漁業協同組合の皆さんが、大崎町と東串良町の近海に、ヒラメの稚魚を放流しました。

水産資源の安定供給を目的に、今年は4,600尾を放流し、漁獲量増大を願いました。



ウォーキングをしながらごみ拾い

6月5日(月)、大崎町健康運動普及推進員13名が、せせらぎ公園ウォーキングコース周辺のごみ拾いを実施しました。これは、推進員がウォーキングを兼ねて、町の環境美化のために毎年ボランティアとして取り組んでいる活動です。

会長の西北とも子さんは「地域の方ががんばって草を刈っている場所のごみが少なかったが、草むらや側溝には空き缶などごみがあった。きれいにしていくところにはごみをポイ捨てしづらいのでしょう。ごみ拾いながらのウォーキングは毎年推進員の活動として実施しています。身体も町もすっきりきれいです」と話されました。